



# 深瀬君と深瀬第三内科助教授（〈特集1〉阪神・淡路大 震災 第3部 追悼）

藤原, 恵

---

**(Citation)**

神戸大学医学部神緑会学術誌, 11:133-134

**(Issue Date)**

1995-10

**(Resource Type)**

departmental bulletin paper

**(Version)**

Version of Record

**(JaLCD0I)**

<https://doi.org/10.24546/81007420>

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81007420>



特集第3部——追悼

深瀬君と深瀬第三内科助教授

4回生 藤原 恵

3月23日朝、千原先生に電話をしたら、不在で、医局の人から第三内科の人が亡くなったと聞いた。その後、第二病理の前田先生に話すことがあったので、教室に伺うと、秘書の方が、「先生は今剖検をされていて、その後すぐに出張されます。亡くなられたのは、第三内科の深瀬助教授です」とおっしゃった。

「え、とすると、あの一回生のボランティアの深瀬君のお父さんではないか」

すぐに、第三内科の医局に電話をかけ、確認をとった。

一回生のボランティアの連絡役の田中君と宮村君に連絡をとり、一回生については、雪の御所の救護所と浜田公園の救護所の担当から全員外れてもいいから、深瀬君のバックアップを依頼する。

その後、医学部の基礎棟を出た所で、偶然に千原先生と出会った。丁度、病理解剖が終わった所だった。私自身慌てていたせいとか、その時の会話を正確に思い出すことはできないが、死因は心筋梗塞で、この間の疲労がたまっていた過労死ということであった。

「過労死による労災認定ということはどうなるのでしょうか。」

「そのことは、証明するのは、なかなか難しいなあ」

数日前に取材に来た神戸新聞のマーケティングセンターの佐藤愛さんに連絡をとり、「神戸大学病院で、第三内科の助教授が過労死でなくなられました」と伝える。その後、社会部に電話をする。その日の夜、社会部の担当の記者から問い合わせの電話があった。少々お節介かなとは思ったが、深瀬君の家の電話番号と、先生の息子さんが現在神戸大学の医学部の一回生でボランティア活動をしてくれたことを伝える。

深瀬君は、お父さんを尊敬していた。彼が3月11日ボランティアで来てくれていた時に、皆で、なんで神戸大学の医学部を選んだのかを話した時に、「僕は神戸大学が好きだから来たんです」と答えたのが印象に残っている。僕が「前京大の医学部に入ったのは、医者にかかりたくないから、医学部に入ったんだ」と言ったら、「僕は医者としての父を尊敬しています」と返答が返ってきた。その後、色々話していく内に、彼は震災の直後、お父さんと一緒に神戸大学病院にいて、救急医療部でボランティア活動をして、心臓マッサージもやったりと教えてくれた。まさか、この時に、彼が、そのお父さんの心臓マッサージをやることになるなどとは夢にも思わなかった。

深瀬君は雪の御所のボランティアに2回来てくれていた。2回来てくれていたのだが、1回目のことについては、すっかり忘れていた。

1回目の時、ボランティアノートには、「買い出しで、自衛隊員に敬礼したところ答礼してもらい、まいあがってしまった。」と書いてあった。それを読んだ時、「今年の一回生には、おもしろい奴がおんなー。」と感じたのは、覚えていた。

2回目に来てくれた時、岡山でのヨットの合宿から、車をすっ飛ばして、駆けつけてくれていた。僕が朝9時過ぎに救護所に来ると、一台車があった。変だと思ったが、別にそれほど気にせずいたら、昼、深瀬君がやって来て、子供達の声で目が覚めたと言った。それで、ボランティア活動にやってきたのに、寝ていたということで、そこにいた一回生の酒井さん(Haruna)と大笑いをした。

その時のノートに彼はこう書いてくれる。

3/11 (SAT)

•今日は朝の5時30分に着いた。というのも昨日の

昼2時に西宮ヨットハーバーを出発。竹野と先輩3人とで岡山へ。渋滞にまきこまれ、7時間後の9:00pmに牛窓ヨットハーバーにつく。風呂に入って、メシを食べて、12:30amに出発、3:50am西宮ヨットハーバーへ。ヨットを積みおろしてさあ解散というとき、先輩を乗せる西方面の車がなくて、泣く泣く我が家を通りすぎ、学部まで送った。そしたら、もう5:00am。しゃないからここにきて車の中で寝ていた。そしてなんと、起きたら11:30am。寝すごしたー。

愛車 ACCORDSiR は今日も元気いっぱいメーターがあつという間にふりされる！

それにしてもひまやー！ そろそろウィンドとのしれつな勧誘合戦がはじまる。今年は勝たせてもらおうぞ。

注 4/1 or 4/8 藤原氏主催のカニ、さしみ食いつアーをやります。ふるってご参加ください。

・参加者

(I) 深瀬 はるな 山田 (8027454) 石田

今日は春一番が吹いて、天気の良い気持ちいい1日でした。

最近めっきり患者さんが増えた。(話しながらだから反対のことを書いてしまった)

今日はヨットの話ばかりで、何しにきたのかしら？

Haruna

24日の葬式の時、僕が一時頃ついた時、既にHarunaは来ていた。前日の通夜の時も来てくれていたそう。

深瀬君がめざとく、僕を見つけてくれて、話しかけてくれた。本当はこっちの方から声をかけるべきなのに。

深瀬先生が兵庫医科大学へ運びこまれる経過や、それ以後の経過について、深瀬君から聞いた。深瀬君自身が二度心臓マッサージをして、蘇生させたと語ってくれた。

「三度目は、父がICUに入っていましたから……」

葬儀の時、千原先生が弔辞を読む。「災難続きで、ほとんど涙もかかれてしまいました」という一節が心に残る。

深瀬君と少し話しをした時、結局こっちが言ったのは、「皆が、勉強しなければなりませんね」ということだけだった。後で、3/24付けの神戸新聞の「助教教授が過労死」の記事をコピーして渡す。後で、この記事がなんとか役に立つかも。

葬式の帰り、一回生のHarunaと永井さんと一緒にJR西宮に向かって歩きながら、いろいろとおしゃべりをした。

結局、結論は？

「一回生はね、17日から新学期なんです。でも、今大学に行ったって、住むところもないし、復興のジャマだよね。講義する位なら、ホウキとチリトリを持って、街の掃除でもやるほうがよっぽど皆のためになるよね」

一回生の皆さん。期待してます。

Megumi

そうだ、一つ忘れていました。いつか、みんなでさしみを食べに鳥取にいきましょう。鳥取はいいところです。うちの両親も大歓迎です。